

J Aバンク群馬における地域密着型金融の取組状況（平成 24 年度）

J Aバンク群馬（群馬県下 J Aと農林中央金庫前橋支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 22～24 年度 J Aバンク群馬中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 24 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク群馬の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク群馬は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク群馬は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 25 年 3 月末時点の J Aバンク群馬の農業関係資金残高^{（注1）}は 20,004 百万円（うち農業経営向け貸付金 17,571 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 6,361 百万円を取扱っています。

（注 1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

（注 2）J Aバンク群馬が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

種 類	25 年 3 月末現在
農業	17,571
穀作	926
野菜・園芸	5,428
果樹・樹園農業	400
工芸作物	288
養豚・肉牛・酪農	5,910
養鶏・鶏卵	1,719
養蚕	0
その他農業（注 1）	2,897
農業関連団体等（注 2）	2,432
合計	20,004

（注 1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注 2）「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	25年3月末現在
プロパー資金(注1)	8,330
農業制度資金(注2)	11,674
農業近代化資金	7,200
その他制度資金(注3)	4,473
合 計	20,004

(注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク群馬が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3) その他制度資金には、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	25年3月末現在
日本政策金融公庫資金	6,361
合 計	6,361

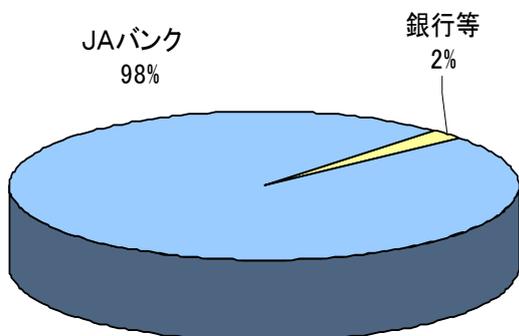
(注)

JAバンク群馬では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

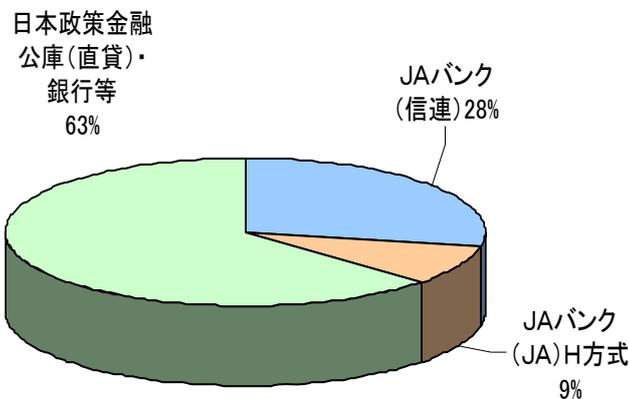
農業近代化資金

平成24年12月末現在



公庫受託貸付

平成25年3月末現在



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク群馬では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内15 J Aの本店には30人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

農林中央金庫前橋支店では、J Aのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しています。

主な取組内容
営農部署が主催するT A Cミーティングに役員や金融担当職員も出席し、訪問活動を通じて得た農業者からの意見・要望に対し、J Aとしての対応を検討する場を設けました。
J A全農ぐんまが主催するアグリマシンプフェア（農機具展示会）に参画し、会場内に設置したJ Aバンクコーナーにおいて、農業資金等のP R、相談活動を実施しました。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク群馬は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク群馬では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

種 類	平成 24 年度 実行件数	平成 24 年度 実行金額	平成 25 年 3 月末 残 高
就農支援資金（転貸）	1 4	4 0	3 4 3
その他	3	1 9	1 9
合計	1 7	5 9	3 6 2

(2) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク群馬では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 24 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

債務者区分	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率	ランクアッ プ率	
					= a / A	= b / A	
正常先①	43	0		33	0.0%		
要注意先	うちその他要 注意先②	112	15	8	95	13.4%	7.1%
	うち要管理先 ③	0	0	0	0	-	-
破綻懸念先④	26	4	4	19	15.4%	15.4%	
実質破綻先⑤	102	2	11	82	2.0%	10.8%	
破綻先⑥	4	0	0	4	0.0%	0.0%	
	小計(②～⑥の 計)	244	21	23	200	8.6%	9.4%
	合計	287	21	23	233	7.3%	8.0%

(注)

期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 24 年 1 月末または 2 月末時点でのものです。

(3) 農業法人とのコミュニケーション強化

農林中央金庫前橋支店は、群馬県農業法人協会の賛助会員として、地域農業の有力な担い手である農業法人経営者の皆様との交流を深めています。

J Aグループのネットワークを活用したセミナー開催や、農業法人への訪問活動等を通じ、情報提供やコミュニケーション強化を図っています。

【平成 24 年度 セミナー実績】

講演会名	参加対象者	内容
第 11 回群馬県農業法人協会総 会・研修会	群馬県農業法 人協会会員・賛 助会員等	日中韓 F T A と農業 ーアジアの経済連携にどう位置づけるかー

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク群馬では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク群馬では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 24 年度負債整理資金の貸出実績】

単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	平成 25 年 3 月末 残高
農業経営負担軽減支援資金 (注 1)	0	0	1 8
畜産特別資金 (注 2)	1	3	8 0 2
合計	1	3	8 2 0

(注 1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(注 2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

(2) 動産担保融資の活用

J Aバンクでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っています。

群馬県における融資の実績は次表のとおりです。

【群馬県における 24 年度活用実績】

単位 件, 百万円

種 類	平成 24 年度	
	件数	残高
農産物	0	0
畜産物	7	7 8
機械設備	0	0
その他	0	0
合 計	7	7 8

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク群馬では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

J Aバンク群馬では、東日本大震災に伴う風評被害対策資金を創設したほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実 行金額
家畜飼料特別支援資金	—	配合飼料価格高騰により畜産経営に対する資料購入に伴う資金対応。	0	0
東日本大震災に伴う風評被害対策資金の対応	JA 赤城 たちばな	群馬県下 J A では東日本大震災の風評被害対策として、農林中金及び信連からの利子補給と J A 自助努力による無利子資金を創設。	1	1
〃	JA はぐくみ	〃	4	1 4
〃	JA あがつま	〃	9	3 3
合計			1 3	4 7

(2) JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク群馬は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校 323 校へ、21,450 セット配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	実施日	活動内容
赤城たちばな	ちゃぐりんを活用した食育教育	7月	管内の小学5年生を対象にちゃぐりんを配布して農業の関心を深める。
前橋市	ちゃぐりんフェスタ	7月	管内の小学生とその父母による料理講習、野菜栽培体験。
	稲作体験	6月～10月	管内の小学校の小学5年生を対象に米作体験。
	収穫体験	6月～10月	管内の幼稚園児・小学生を対象にサツマイモの収穫と稲刈体験。
佐波伊勢崎	農業祭り	11月	パネル展示や地元野菜の写生コンクールを開催。
	農業教室	5月～6月	管内の小学生を対象にバケツ稲授業を開催。
たかさき	親子の集い	7月	群馬県産木材に触れ、木製パズルを作り、高崎産ゴロピカリを使用して、おにぎり作り体験を実施。
	稲作体験教室	4月～11月	管内の小学5年生による稲作体験教室を開催。
	トマト収穫体験教室	2月	適応指導教室生徒（小中学生）によるトマトの収穫体験。
はぐくみ	小学生による農業体験	5月～12月	管内の小学生を対象に田植体験、稲刈り体験を実施。
たのふじ	親子ふれあい企画	10月	管内の小学生とその父母による野菜の収穫体験教室。
	親子トマト収穫体験教室	7月	管内の小学生とその父母によるトマト収穫体験教室。
甘楽富岡	お米作り体験事業	5月～11月	管内小学4年生、5年生を対象に田植え・稲刈りなどの実習を実施。
	お米作り体験事業アートを描こう	5月～11月	管内在住の園児、児童及び中学生を対象に田植え、田んぼの生き物調査、稲刈りの実習。

JA名	活動名	実施日	活動内容
碓氷安中	食と農の体験学習	6月～12月	園児、小学生とその父母による農業体験及び料理実習。
	ちゃぐりん8月号特別普及活用運動	7月	小学校にちゃぐりんを寄贈し、JAの食農教育の実践活動（出前授業）の実施。
あがつま	地場産食材の学校給食及び料理教室	6月～3月	女性部による地場産米を利用した料理や地場産米や食材を活用した学校給食。
利根沼田	わくわく教室	7月24日	ちゃぐりんを活用し、米や田んぼの多面的機能を学んでもらう。米を使った料理で米食への関心を深める。
	ちゃぐりんフェスタ	6月～11月	農産物への理解を深めるための講習とゲームを実施。
	JAカップ協賛による地元産米への理解と消費拡大	6月～7月	地元小学生400人以上が参加する少年野球大会JAカップに協賛し、食や農業の大切さをPRを実施。
	親子農業体験	5月～10月	農作業の体験と地元野菜への関心を深めてもらう。
	食農教育出張講座	1月29日	水田の多面的機能の学習と利用方法の体験。
太田市	JA太田市食育プラン2012	5月～11月	太田市内小学生を中心として農業体験・食農教育の推進を行う。
邑楽館林	イチゴの収穫体験、きゅうりの収穫体験	5月15日、6月1日	青年部員の栽培ハウスにて収穫体験教室を実施
	手作りソーセージ体験	2月2日	管内小学生と保護者による手作りソーセージ体験教室の実施。
群馬信連	JAバンクファミリーキャンプ	8月4日～5日	県内小学親子を対象とした地産地消をテーマにしたキャンプを開催。金融教育をイベントを通じて行う。

以上